

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】令和6年9月2日(2024.9.2)

【国際公開番号】WO2023/119744
 【出願番号】特願2023-569061(P2023-569061)

【国際特許分類】

B 6 2 D 1/183(2006.01)

【FI】

B 6 2 D 1/183

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月7日(2024.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

運転者が操舵可能な第一位置と車両前方の第二位置との間で移動可能に操舵部材を保持するステアリング装置であって、

車体に取り付けられる固定部材と、

前記固定部材に対しレール機構によって移動可能に取り付けられる可動部材と、

前記可動部材に取り付けられ、前記操舵部材を回転可能に保持する操舵軸体と、

前記操舵軸体と非同軸の位置において前記可動部材に取り付けられ、前記操舵軸体に反力を付与する反力装置と、を備え、

前記可動部材は、前記反力装置が配置される第一可動部と、前記操舵軸体が配置される第二可動部とを備え、前記第一可動部と前記第二可動部とは、車両の幅方向に並んで配置され、前記第一可動部は、前記第二可動部に対して車両前方に長い

30

ステアリング装置。

【請求項2】

前記レール機構は、

前記固定部材に取り付けられる固定レールと、

前記可動部材に取り付けられる可動レールと、を備え、

前記可動部材は、

前記反力装置および前記可動レールが配置される第一可動部と、

前記操舵軸体が配置される第二可動部と、を備え、

前記第一可動部と前記第二可動部とは、車両の幅方向に並んで配置され、

前記第一可動部は、前記第二可動部に対して車両前方に長く、

40

前記可動レールは、前記第二可動部に対して車両前方に長い

請求項1に記載のステアリング装置。

【請求項3】

前記固定部材は、

前記固定部材の前側端部と車体内に設けられる車両部材との隙間が衝突時における前記車両部材の移動量より大きくなるように前記車体に取り付けられる

請求項1または2に記載のステアリング装置。

【請求項4】

前記固定部材に対し前記可動部材が第二位置に位置する場合、車両の前後方向において、前記可動部材の前側端部は、前記固定部材の前側端部よりも前方に位置し、前記可動部

50

材の少なくとも一部は、車体内に設けられる車両部材の凹部に挿入され、前記可動部材の前側端部と前記凹部との隙間は、衝突時における前記車両部材の移動量より大きい請求項 1 または 2 に記載のステアリング装置。

【請求項 5】

前記操舵軸体に同軸上に配置されるトルク検出装置を備える請求項 1 または 2 に記載のステアリング装置。

【請求項 6】

前記反力装置の出力軸体に同軸上に配置されるトルク検出装置を備える請求項 1 または 2 に記載のステアリング装置。

10

20

30

40

50